

2025年度 前期教育計画

面接指導施設名	科学技術学園高等学校				
教 科	科 目	単位数	標準単位数	学習期間	担当者
芸術	書道Ⅱ	2	2	半期	本校教員・スクーリング講師
教科書名		出版社	学習書		
書Ⅱ		光村図書	本校作成学習書		
指導目標					
書の表現の多様性を理解し、書の伝統に基づき、効果的に書表現するための基礎的な技能を身に付ける。 鑑賞を通して幅広い書表現と創造性を味わい、意図に基づいて構想し、表現を工夫する感性を育む。					
レポート(添削指導)	全 6 回	定期試験	無し	年間・学期	回
スクーリング	全実施時間数 12 時間	定期試験の評価割合	70 %	(定期試験は作品評価で替える)	
	標準面接時数 8 時間	評定算出方法	評点が100～85点は5、84～70点は4、69～50点は3、49～35点は2、34～0点は1		

回数	日付	スクーリング 単元・学習内容	レポート 提出期限	回数	高校通信教育講座(コンテンツ視聴) 単元・学習内容
1	4/26	篆書の古典を臨書しよう	5月10日	1	篆書
2	4/26	・泰山刻石を篆書の特徴を理解して、臨書する。		2	篆書の変遷
3	5/11	隸書の古典を臨書しよう	5月25日	3	泰山刻石
4	5/11	・隸書の基本点画を習得し、臨書に活かす。		4	隸書
5	5/31	草書の古典を臨書しよう	6月10日	5	乙瑛碑
6	5/31	・草書の特徴を捉え、筆脈とリズムを意識して十七帖を臨書する。		6	草書
7	6/22	座右の銘を書こう(篆書・隸書・草書)	6月25日	7	王羲之
8	6/22	・第1～3回で学んだ基本点画や表現方法を活かして座右の銘を創作する。		8	十七帖
9	6/28	仮名の書を味わおう	7月10日	9	書譜
10	6/28	・連綿を意識して高野切第一種を臨書する。		10	創作(篆書・隸書・草書)
11	7/12	表現の幅を広げよう(漢字仮名交じりの書)	7月25日	11	仮名の書
12	7/12	・鑑賞を通して、表現の幅を広げ、古典を参考に漢字仮名交じりの書の創作をする。		12	高野切第一種
13				13	仮名の表現を比べよう
14				14	料紙
15				15	表具
16				16	漢字仮名交じりの書
17				17	篆刻
18					
19					
20					

《留意事項》

- ・スクーリングには教科書または学習書を必ず持参すること。
- ・実験器具、ICT機器、映像資料等を用いてより効率的に学習を進める。